

# しもぎょうとしよかん 下京図書館だより

冬号(令和4年12月発行)

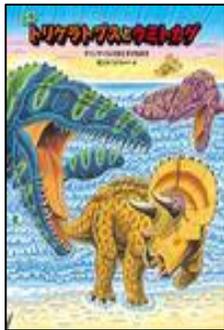
## 《低学年向け・よみもの》

### 『恐竜トリケラトプスとウミトカゲ』

#### 『ディノケルスをたすけるまき』

黒川 みつひろ/作・絵 小峰書店

ある日、トリケラトプスたちは友だちのプテラぼうやと海岸にやってきました。海の方を見ると、恐竜の子どもが2匹流されていました。「助けてあげよう」と言って、プテラぼうやが恐竜の子どもを助けた瞬間、海から大きなウミトカゲ2匹があらわれておそいかかりました。さあ、大変!!このあとトリケラトプスたちはどうなるのでしょうか。



### 『あつめる! はこぶ! せいそうしゃ』

片平 直樹/ぶん 岡本 よしろう/え 交通新聞社

この本は、決まった日にゴミを集めてくれる清掃車の仕組みや集めたゴミの行先など、清掃車の一日に密着した内容です。ゴミを集める仕事は体力が必要なので、準備体操をしている場面や、ゴミ集め以外の仕事も紹介しています。

ページの最後に「のりもの新聞」があります。清掃車のゴミの積める量や、ゴミを出す人たちに伝えたいことなどが書かれています。



## 《中学年向け・よみもの》

### 『おさほうえほん 育ちのよさが身につく』

高濱 正伸/監修 林 ユミ/絵 日本図書センター

すなおでいる、あいさつは自分からする、人の話はきちんと聞く、順番を守り、うわさ話をしない、人を見ためで判断せず、人のステキなところを見つける、など「なぜそうするの?」というおさほうの基本をイラストで説明しています。この本で「おさほう」を学んでくださいね。



### 『宇宙食になったサバ缶』

小坂 康之/著 別司 芳子/著 早川 世詩男/装画・挿絵 小学館

なぜサバ缶が宇宙食に選ばれたのか、そのサバ缶は誰がどのようにして作っているのか、などサバ缶が宇宙食として完成するまでの道のりを書いたノンフィクションです。サバ缶以外にも宇宙日本食メニューと題した食品が写真で紹介されています。さて、あなたはどの宇宙食が食べたいですか?



## 《高学年向け・よみもの》

### 『小学生のための世界の美術館・博物館 知識が広がるミュージアム案内』

「世界の美術館・博物館」編集室/著

世界の美術館・博物館30館の絵画や彫刻などの収蔵品が写真でくわしく解説されています。作品をたのしみながら知識を得ることができる素晴らしい内容です。

メイツユニバーサルコンテンツ



### 『戦争が町にやってくる』

ロマネ・ロマネーシン/作 アンドリー・レシウ/作 金原 瑞人/訳 ブロンズ新社

ロンドという町は花が咲き鳥がうたい、人びとは幸せに暮らしていました。ところが、ある日突然戦争がやってきました。そして... 今、ウクライナで戦争が起こっていますが、戦争はやく終わること、そして、世界中が平和であることを祈らずにはられません。



## 《低学年向け・ものがたり》

### 『しゅくだいドッジボール』

福田 岩緒/作・絵 PHP 研究所



運動がにがてなひろきは、そのなかでもとくにドッジボールができません。もうすぐクラス対抗の大会があるからうまくなりたいのに…。でも体育のじゅぎょうのときに、ひろきはさんねらわれて当てられました。それを見ていたおなじクラスの池田くんに、「大会に出ないで」といわれてしまい逆にやる気がでてきたひろきですが…。にがてな事も、努力をすればきっとできるようになる、努力することの大切さを描いた本です。



### 『とんとんとんのこもりうた Amamino Kurousagi』 いもと ようこ/作・絵 講談社

奄美のくろうさぎは、1200年前から島にすんでいます。奄美大島と徳之島にしかない特別天然記念物だそうです。体の毛は黒に近いこげ茶色で耳と足が短く、森の中の岩穴や土穴に住んでいます。奄美のくろうさぎの子そだてのようすを、いもとようこさんが描いています。



## 《中学年向け・ものがたり》

### 『ライスボールとみそ蔵と』

横田 明子/作 塚越 文雄/絵 絵本塾 出版



新町小学校がある味噌市は「蔵の町」といわれ、外国から旅行者も来るようになりました。そんな町で、手作りのみそを作る家に生まれたジュンは、お父さんからみそにきょうみを持つようにといわれるのがいやでした。でもロンドンから転校してきたユキちゃんに、「蔵をみせてほしい」といわれてから、ジュンの気持ちが少しずつ変わり始めました。



### 『きょうは選挙の日。』

塚本 やすし/作 汐 文社



きょうは日曜日。お気に入りの服を着てぼうしをかぶりおしゃれをして、家族で選挙に行くんだよ。投票したあとはレストランへ行って、おいしいものを食べて、少し遠回りして帰ろう。選挙はけっしてむずかしいものでも特別なものでもない、毎日の生活の延長のもので明るい未来のためのものだと、ある家族をとおして描いています。投票の方法や選挙でよく聞く言葉が、わかりやすく説明されています。



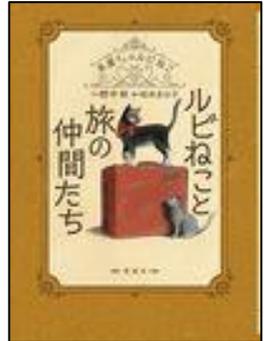
## 《高学年向け・ものがたり》

### 『ルビねこと旅の仲間たち』

野中 柊/作 松本 圭以子/絵 理論社



今日は、<本屋 本の木>に大好きなミドリさんがやって来たので、ねこのルビは大喜びです。ルビは船に乗って旅をしているミドリさんのように、自分もいつか旅がしたい、海を渡って遠くへ行きたいと思っています。ある日、ルビはミドリのさんの“親友”だという旅ねこバトーに出会い、大切なことを教えられました。「本屋さんのルビねこ」シリーズ第5弾のおはなし！ぜひ読んでくださいね。



### 『あつかったらぬげばいい』

ヨシタケ シンスケ/著 白泉社



体も心も疲れているときは、無理をせずにいればいいのではないのでしょうか。へトへトに疲れたら、なにもせずに寝ればいい、だれもわかってくれなかったら、おとなでいることに疲れたら、などなど、ヨシタケ流の文章と絵でそのときの対処の方法を、わらいをさそいながら、教えてくれています。



目下京図書館 〒600-8449

〈場所〉 下京区新町通松原下の富永町 110-1 下京 修徳ふれあい福祉会館 4 階 ☎351-8196

〈開館時間〉 月・水～金曜日 午前9時半～午後7時 土・日曜日・祝日 午前9時半～午後5時 休館日：火曜日

貸出中の時は予約してね！